

まきびと

2016年 社会福祉法人
クリスマス号 牧人会

961-8061 福島県西白河郡西郷村 TEL 0248-25-2046
小田倉字上上野原 158 番地 1 FAX 0248-25-3776
振替口座 02160-6-244

クリスマスを迎えるとき、当会の計画と事業活動をご支援ください。



白河めぐみ学園・白河こひつじ学園の
クリスマス燭火礼拝



継続する除染作業。共生型福祉施設白河まきびと
センター隣接道路の除染作業
(2016年10月5日 現在)

働きのなかの 祈り

放射能の 恐怖に
直面した その時
共に 祈りが
あふれた
祈りが 希望に
願いが 働きとして
結実した 成果
それが共生型福祉施設
白河まきびとセンター

そのそばで 今も続く
放射能 除染作業
満5年が 経過しても
放射能は 確実に
存在する 厳しい現実

命を護り 育てる働き
働きのなかの 祈り
それは
クリスマスの 祈り
救い主の 誕生が
未来を 確信する祈り
希望と 喜びの根拠

幼児から高齢者までの福祉支援サービス提供を充実強化 し一層の共生を目標にしています。 理事長 山下勝弘

クリスマスの挨拶とともに、当会の今年度事業活動目標を報告いたします。

当会の2016年度事業活動は、以下の目標を重点的に実施しています。

- 1、幼児から高齢者までの福祉支援システム構築と福祉支援サービスの拡充
- 2、地域住民も利用可能な福祉施設建物・設備の改修と整備
- 3、キリスト教会と連帯した社会に貢献する福祉活動の推進

これらの活動目標は、今年度から開始された社会福祉法人制度改革に対応して、当会の活動が地域社会と、地域社会に生活する人々との連携を強化し、隣人として共生する働きを現実化する活動です。ご理解とご支援をお願いいたします。

当会の現状を報告いたします。

共生型福祉施設「白河まきびとセンター」の事業開始によって、当会は2016年度現在、福島県・山形県内の10市町村で運営する社会福祉関係施設・事業所は29施設・事業所、提供している福祉サービスは15種別、64事業区分になります。

児童領域では、保育事業を含む児童発達支援センター及び発達支援事業所7施設、障がい児入所施設2施設、その他で直接利用児童数は170名になります。

成人領域では障がい者支援施設3施設、就労支援・生活介護施設4施設、グループホーム6ヶ所を運営し直接利

用者数は380名になります。

地域福祉サービス領域では、地域相談支援事業を福島県内4地域、山形県内2地域で実施し、相談件数全体は年間1万件を超え、今後いっそう相談件数が増加する見通しです。

このように当会では、乳幼児から高齢者までを対象にした福祉支援システム構築を具体化し、その充実拡大を目標にしています。

クリスマスを迎えるとき、ご理解とご支援を心からお願いいたします。

当会は1971年に設立され、その後キリスト教会と地域社会、そしてみなさまの信頼と委託に応じて活動を続けてきました。少子超高齢化社会の我が国の社会福祉サービスの課題に応え、当会はさらに福祉の現場に献身する決意を強くしています。2016年のクリスマス、また新年を迎える時、心からの感謝をこめて現状を報告し、ご理解とご支援をお願いいたします。

利用契約乳幼児は全体で 180 名、今後さらに利用希望は増加へ

2016 年度も、当会はとくに乳幼児療育支援サービス領域を重点的に拡大充実させています。昨年度、共生型福祉施設白河まきびとセンター内に小規模保育事を開始したことによって、0 歳児から成長発達に配慮と支援を必要とする乳幼児療育支援体制は



強化され、福祉施設・事業所は、福島県内に児童発達支援センター「まきびと」と小規模保育事業「まきびと」(西郷村)、発達支援センター「いずみざき」(泉崎村)、同「たなぐら」(棚倉町)、同「すぎのこ園」(塙町)、同「みなみあいづ」(南会津町)、同「あだたら」(二本松市)、山形県内に児童発達支

相談支援業務の強化と充実へ

当会では相談支援業務を福島県内で 4 地域にまた山形県内で 2 地域に、それぞれ事業所を設置して、地域社会に生活する援助を必要とする人達を支援しています。

専従職員は 12 名で、全体の年間相談件数はすでに 1 万件を超えています。相談対象になる人達は幼児から高齢者まで、その家族の支援を含めて多様な内容に応じて、24 時間体制で活動しています。

なかでも福島県あだち地域相談センター「あだたら」は地域の基幹相談センターとして、他の相談機関を支援する活動も展開しています。今後もこの事業を強化・充実する方針です。

援センター「山形ひかり学園」(上市市)で直接利用可能な乳幼児数定員は、全体で 110 名です。

乳幼児の場合、幼稚園・保育園と併用している状況も多く、利用を希望して利用契約をしている乳幼児数は全体 180 名をこえ、利用希望者はさらに増加しています。またキリスト教会に関係する幼稚園関係者からも、新しい活動領域として幼児の療育支援活動を検討するための協力要請もあります。当会でも可能な限りこれに応える働きを具体的に推進する方針です。

多様な旅行計画から自己選択 社会生活参加と交流の機会拡大

当会関係の成人領域福祉支援サービスの直接の利用者は 380 名になります。この人たちへの支援サービスは福祉施設内の基本生活領域をはじめ、多様な日常活動の提供、地域社会に参加する機会の拡大と活動の充実を基本にしています。

各福祉施設で実施される利用者の希望と選択による旅行は、社会参加の機会と家族も参加する交流の場として喜ばれています。



それぞれに豊かな生活を自分で育てる活動へ参加

当会が運営する就労支援と生活介護事業所では、利用者がそれぞれに地域社会で豊かな社会生活を具体的に育てる支援活動を提供しています。

生産活動や就労前職業訓練を経験することによって、将来は地域社会でグループ・ホームやアパートで自立した生活を実現するために、利用者全員が努力をしています。その成果である製品の販売をご支援ください。

福島県内の除染作業は継続中

2011 年 3 月の原発事故の放射能除染作業は、当会の運営する福祉施設周辺でも、現在も継続中です。この事実を風化させない運動を、ぜひご支援ください。

教会で、家庭で、幼稚園・保育園で 当会の木工授産製品を、ご利用ください



当会の関係福祉施設のユニークな製品に、木工製品があります。木工製品は、キリスト教会関係家具、用品、積木などの木製玩具が中心で、高品質な製品として好評です。

当会の授産製品の詳細は、インターネットのホームページ (<http://www.makibito.com>) をご覧ください。

ご注文は、各授産施設へ電話か FAX でお願いいたします。また、特注家具の製作注文に応じています。

具体的には本部事務局・各授産施設にご相談、お問い合わせください。これからもみなさまの一層のご支援をお願いいたします。

写真 左上 特製高級十字架 配布価額 10,000 円 右上 特製幼児テーブル・椅子 セットで配布価額 19,600 円。その他の製品と価額については、当会のホームページの製品案内をご参照ください。



牧会后援会にご参加ください

感謝と報告

後援会会長 定家 修身

牧会后援会は 1971 (昭和 46) 年に社会福祉法人牧人会設立とともに、正式に活動を開始し、社会福祉法人牧人会の強力な協力支援団体として、現在にいたっています。

その主要な支援活動内容は、社会福祉法人牧会に連帯し、理解し、協力するとともに、これを財政的に支援することです。

2015 年度に牧会后援会へ納入された会員の会費総額は、4,780,931 円で、これは個人会員と団体会員をあわせて 529 会員のみなさまが協力してくださった結果です。この納入された会費から、4,500,000 円を 2015 年度の助成金として、社会福祉法人牧人会へ捧げました。

2015 年度は特に、社会福祉法人牧人会が実施した共生型福祉施設整備事業、関係福祉施設の老朽設備改修、研修事業を中心に支援をしました。

2016 年度も引き続きみなさまのご理解、ご加勢と共に、後援会活動へのご参加とご支援を、クリスマスを迎える時、心からお願いいたします。(協賛広告)

白河めぐみ学園
Tel 0248-25-2046

白河こひつじ学園
Tel 0248-25-2055

あだたら育成園
Tel 0243-48-3111

須賀川共労育成園
Tel 0248-76-4155

あだち共労育成園
Tel 0243-48-3113

はなわ育成園
Tel 0247-43-3891

山形ひかり学園
Tel 023-672-2377

寒河江共労育成園
Tel 0237-86-7625

山形育成園
Tel 023-673-2575

すぎのこ園
Tel 0247-43-4391

児童発達支援センターまきびと
Tel 0248-25-0869

泉崎村障がい者支援センター
Tel 0248-53-3618

発達支援センターあだたら
Tel 0243-22-2800

相談センターこひつじ
Tel 0248-25-2055

まきびとの家
Tel 0248-25-2046